

# 28C-am02S

超原子価ヨウ素型クロロ化合物を用いるオレフィン類の二官能基化反応  
○米田 貴洋<sup>1</sup>, 宇久 美奈子<sup>1</sup>, 川戸 勇士<sup>1</sup>, 江上 寛通<sup>1</sup>, 濱島 義隆<sup>1</sup> (静岡県大薬)

【目的】塩素は天然有機化合物等の有用な生物活性物質に含まれているのみならず、その塩素官能基自体の反応性を利用した変換反応もあることから、有機分子骨格に塩素を導入する反応の開発は重要である。一方、当研究室では超原子価ヨウ素試薬を用いたトリフルオロメチル化反応の検討を行なっている。そこで我々は類似の構造を有するクロロ化合物 **1** に着目した。この化合物は既知であるにもかかわらず、その反応性に関しては系統的な研究がなされていない。そこで今回、このクロロ化合物 **1** を用いたオレフィン類のクロロ二官能基化の開発を目的として研究を行うこととした。

【結果】容易に調製が可能であり、また安定で取り扱いやすい固体であるクロロ化合物 **1** の反応性の検討を、スチレン誘導体を基質に用いて行なった。種々条件検討の結果、これまでに以下の図に示す 5 つの反応が、その反応条件に応じて選択的に進行することを見出した。本発表ではその詳細について報告する。

